

戸沢学園

コミュニティ・スクールだより

令和元年 12月13日(金) 12月号

戸沢学園学校運営協議会事務局

令和元年度第3回運営協議会開催

11月29日(金)に第3回の戸沢学園学校運営協議会が行われました。当日は、朝早くに学校を訪問し、児童生徒の登校の様子や教室に入ってからの朝の会の様子を参観しました。(以下、会議の内容を紹介します。)

研修では、「先進校視察(福島県郡山市立西田学園:義務教育学校)」について、柿崎健:村教育委員会学社融合主事より報告がありました。

協議①では、今年度4月に実施された「全国学力学習状況調査」について、小中国語と中数学の問題の中から、本校で県・全国平均より正答率が低かった問題を選び、委員に実際に解いてもらいました。「限られた時間内で、これだけの問題を読んで解くのは難しい。」「内容も多くかなり難しい。」と感想を漏らす委員もいました。問われている力の中には、「文の内容を的確に押さえる。自分の考えを明確にする。根拠を持って考えを説明する。情報を整理して内容を捉える。」などがありますが、小さいころからの読書活動で培われる部分が多いところがあります。村の施策である、保小中一貫で行う『読書の村 戸沢』を推進していくことについて再確認しました。



協議②では、「あいさつ日本一の学校 戸沢学園」に向けての取り組みについて、子どもたちの様子や今までのあいさつ推進の活動状況などについて、話し合いが行われました。(以下、感想・意見を紹介します。)

●子どもたちの様子やあいさつ推進の取り組みについて

- ・登校時の子どもたちの様子は、あいさつの声小さかった。・あいさつしてくれる子もいたが、返さない子もいたようだ。
- ・あいさつは訓練だと思う。お腹から声を出せるように取り組んでほしい。
- ・クラブ活動の指導のお手伝いに来た時、あいさつや感想発表の時に、先生が、声が小さい子どもに言い直しをさせていたが、大変良いことだと思う。学校の方針として、声が小さい時は言い直しをさせるなど、あいさつ・発表の訓練をしてほしい。
- ・地域では、朝や夕方などにあいさつしてくれる子がいる。こちらから積極的に声をかけるようにしているが、あいさつできる子は自然と身についている。意識しなくても声に出せるようだ。一貫して、子どもの年代で自然とあいさつができるように育成していく。
- ・我々、大人が大きな声を出してあいさつしていく必要がある。
- ・あいさつは「大きい声で、元気よく」がよいという先入観で見るのではなく、あいさつしたら楽しい、心地よい、ほっこりした、という体験をすることで、次の意欲につながると思う。最初下を向いていた子が、あいさつをしていくうちにだんだん顔が上がり、お互いにうれしいと感じられることがあった。地域の住民として、笑顔と優しさを大事にして、あいさつを通じたコミュニケーションを続けていきたい。

♪お知らせ・お願い

●第4回学校運営協議会

- ・期日:令和2年2月27日(木)開催予定です。
- ・内容:学校評価アンケート結果の報告
R2年度学校運営方針の検討・承認
R2年度学校運営協議会活動計画

